

## 平成 26 年度 病院指標の作成と公開

DPC データから全国統一の定義と形式に基づき病院指標を医療機関自ら作成し、市民向けに情報公開を進めています。単に数値を示すことが目的ではなく、その数値の意味、自院の強みと課題を市民目線で分かりやすく解説をすることが目的です。

- 1) 年齢階級別退院患者数
- 2) 診療科別症例数トップ 3
- 3) 初発の 5 大癌の UICC 病期分類別ならびに再発患者数
- 4) 成人市中肺炎の重症度別患者数等
- 5) 脳梗塞の ICD10 別患者数
- 6) 診療科別主要手術の術前、術後日数 症例数トップ 3
- 7) 感染症および合併症発生率

**作成方法**：DPC データの様式 1 と E・F ファイルをもとに作成しています。

(グローバルヘルスのダッシュボードを使用し集計を行いました。ただし、「初発の 5 大癌の UICC 病期分類別ならびに再発患者数」は様式 1 から当院で集計を行っています。また、全国平均在院日数は、厚生労働省ホームページ掲載の「平成 27 年度第 7 回 診療報酬調査専門組織・DPC 評価分科会-参考資料 2- 診断群分類毎の集計-全体」から抽出しています。)

**DPC とは「Diagnosis Procedure Combination」の略で、厚生労働省が定める診断群分類病名**

病名と診療内容等の組み合わせにより、様々な状態の患者さんを分類するためのツールです。なお、DPC は入院症例のみが集計対象であり、外来症例は含みません。

**様式 1 とは、簡易版の退院サマリ**

患者の性別や生年月日、入退院年月日、病名・手術情報、各種の(入退院時)スコア等、さまざまな診療録情報があり、患者がどのような状態で入院してきて、主にどのような手術を受け、何日間入院して、どのような状態で退院していったか、概略が把握できます。

**E・F ファイルとは、月に 1 つ作成されるファイル**

当該月において「診療報酬点数がいくらの診療行為をどれだけ実施したか」の情報をまとめたファイルです。

### **E ファイルとは、診療明細情報**

実施年月日や行為回数、病院によっては病棟・医師情報をまとめたファイルがあります。各診療行為点数と回数で請求点数の合計を把握できます。

### **F ファイルとは、行為明細情報**

診療明細名称・使用数量・基準単位をまとめたファイルです。E ファイルの各診療行為に対し、手術名や薬剤名等の詳細情報で構成された請求回数分のデータがあります。

様式 1、E・F ファイルに共通の項目として、データ識別番号（患者 ID に対応）、入退院年月日、データ区分（手術、検査、処方等の診療区分に対応）等があり、これらの項目を連携させて、大きなファイルを作り分析を行います。

### **ICD**

死因や疾病の国際的な統計をとるため世界保健機関 (WHO) によって公表された病名分類のことで、死因や病気ごとの国際的な比較や、医療機関における診療記録の管理などに活用されています。1990 年に国際統計協会により制定された第 10 版のことを分類基準 (ICD-10) と言います。